

生産拡大が期待される農作物 (JA北びわこと連携した取り組み)

キャベツ・たまねぎ (水田を活用した野菜栽培)

JA北びわこは、生産労力・生産コスト低減のため、組合員に対し、機械レンタルと栽培指導を行っています。キャベツの生産面積は、年々拡大し、平成29年度の作付けは、約12haに増えました。



◀育苗

▼定植



▲収穫前



▲収穫

ミニトマト (遊休ハウスを活用した溶液栽培)

遊休ハウスや水稻育苗ハウスを使って、発泡スチロール箱の栽培槽を用いた隔離床養液栽培(ういずOne)でミニトマトを栽培することができます。システム導入経費は安価で、栽培管理は簡単です。

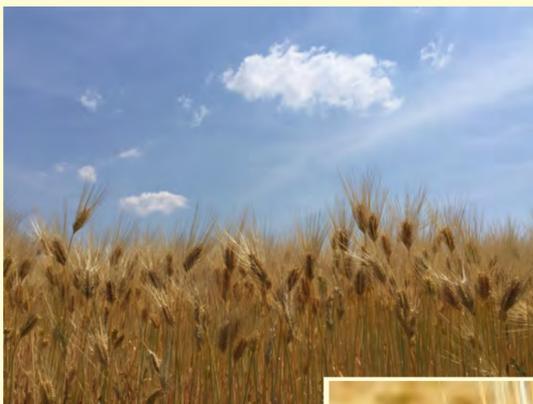


▲装置



ファイバースノウ (麦茶用大麦)

小麦の病害(小麦縞萎縮病)対策と農業者の所得増を目指して、小麦から大麦への栽培転換を目指しています。また、小麦と比べて面積あたりの収穫量が多く、生産者の所得増大と経営の安定が期待できます。



あおばな

あおばなは、友禅の下絵を描く絵の具として古くから滋賀県草津市周辺で栽培され、草津市の花として認定されています。近年、葉や茎に含まれる成分に食後の血糖値を抑制する効果が発見され、健康食品の原料として需要があります。

